

事業報告書

2026 年 2 月 13 日	
福 山 市 長 様	
住 所 福山市御幸町下岩成 248-1	
法 人 名 歓びの園	
代表者名 理事長 生藤 章洋	
2025年11月21日付け（福 障 第2338号）で交付決定のあった福山市障がい福祉分野における介護テクノロジー導入支援事業を、次のとおり実施しました。	
事業名 福山市障がい福祉分野における介護テクノロジー導入支援事業	
実施場所 広島県福山市御幸町下岩成 248-1	
事業費 598,510円	補助金額 448,000円
着手年月日 2025年 11月 25日	
完成年月日 2026年 1月 20日	
実施事業の経過及び内容 機器到着後、すべての機器の設定を行い使用する準備を整えた。準備完了に伴い、使用する予定の全職員に機器の使用方法について説明を行い、2026年2月4日より本格的に導入を開始した。主な用途としては、計画に示した通り、・職員間の情報伝達・記録作成に関する情報の早期共有・職員の居場所を探す時間の軽減・利用者の安全確保を目的に使用を開始した。	
事業成果 館内の情報伝達経路が整ったことで、人を探すなどの時間が削減、削減された時間を利用者支援の時間にあてる事ができた。また、情報伝達の際に使用していた携帯電話等の操作時間も削減、業務中の事故防止と利用者の安全を確保を向上させることができた。	
添付書類 1 契約書の写し（契約書を交わしていない場合は、納品書等、購入品目 が分かる資料の写し） 2 領収書の写し 3 その他市長が必要と認める書類（ ）	

令和7年度(令和6年度からの繰越分)障害福祉分野の介護テクノロジー導入支援事業 実績報告書

自治体名 福山市

【基本情報】

フリガナ	シャカイフクシホウジン ヨロコビノソ		
法人名	社会福祉法人 歎びの園		
フリガナ	ミユキヒロバ		
事業所名	みゆき広場		
提供サービス(複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択)			
生活介護			
職員数(常勤換算数)【「従業員1ヶ月の勤務延時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】			
17.8 人			
参考情報:令和元年度から令和6年度に係るICT導入モデル事業補助実績(複数回補助を受けている場合、補助年度は直近を選択)			
(補助実績)	あり	(補助年度)	令和5年度

【報告に当たっての確認事項】※記載内容を確認し、チェックすること。

- ☒ 導入経費の算定に当たっては、複数の業者から見積書を徴した。
- ☒ 「福祉・介護職員処遇改善加算」を算定した。
- ☒ ICT機器等導入によって得られた生産性向上による業務効率化及び職員の業務負担軽減により超過勤務手当等の経費に金銭的剰余が出た場合には、当該費用を利用者が受ける障害福祉サービスの質の向上や職員の賃金改善に資する取組に適切に使用するとともに、その旨を職員等に周知した。

1. 経費実績

(1) 国庫補助対象経費の実支出額 598,510 円

※実際要した費用の総額を記載

(2) 国庫補助基本額 598,510 円

※上限100万円【1(1)が100万円以下の場合は、1(1)の金額を記入】

(3) 国庫補助所要額 299,000 円

※【1(2)×1/2にて算出(千円未満切捨)】

(4) 主な導入機器内容(複数選択可)

- ☐ パソコン ☐ スマートフォン
- ☐ タブレット ☒ インカム
- ☐ ソフトウェア(事業所での業務を支援するソフトウェア(記録業務、情報共有業務、請求業務)で、各種業務を一気通貫で行うことが可能なものに限る。)
- ☐ ソフトウェア(バックオフィス業務のためのソフトウェア(勤怠管理、シフト表作成、人事、給与などの業務)で、各種業務を一気通貫で行うことが可能なものに限る。)



＜点線内の機器等の導入に際し、必要な場合のみチェックすること＞

- ☐ 通信環境機器等(Wi-Fiルーターなど)
- ☐ 保守経費等(クラウドサービス、保守・サポート費、導入設定、導入研修、セキュリティ対策など)
- ☒ その他(インカム用中継器)

2. 事業実績

(1) ICTの導入を実施した分野(特に該当するもの1つに☑)

- ☐ 作業の迅速化に係る取組(現場や外出先での入力支援、支援記録の作成など)
- ☒ 情報の共有化に係る取組(職員間の情報の伝達など)
- ☐ 業務の統合化に係る取組(勤怠管理、シフト表作成、人事・給与業務など)
- ☐ その他

(2) 事業所が抱える課題

当事業所では、ソーシャルネットワーク(LINEWorks)を活用し、日中業務の中で早期の情報共有を目的として使用しているが、職員は自身の携帯電話又は支給しているタブレット端末を使用しているが、情報共有を行う際、携帯電話に集中してしまう状況がある。この状況では、情報共有は迅速に行えてもヒヤリハットや事故がおこる可能性が大きくなり、利用者の安全をしっかりと確保することが出来ない状況がある。また、情報を確認するためには、携帯電話もしくはタブレット端末を確認しないといけない状況があり、支援中の職員等情報を確認できない職員もおり情報共有のばらつきがある。

(3) ICT機器等を導入した業務内容(概要)

日中活動時間内において、館内での情報伝達の効率化を図るためインカムを使用する。インカムを使用する事で、館内の情報伝達経路が整い、人を探す時間が削減され、情報伝達が非常にスムーズに行えるため利用者支援にかける時間にあてる事が出来る。また携帯電話等を使った情報伝達ではなかったため、業務中の事故防止につながる利用者の安全を確保することが出来る。

【主な用途】

- ・職員間の情報伝達
- ・記録作成に関する情報の早期共有
- ・職員の居場所を探す時間の軽減
- ・利用者の安全確保

自治体名 福山市 事業所名 みゆき広場

(1)ICT補助金の交付にあたって

- ☒ 1 ICT機器の申請のために、都道府県等が行うICT導入に伴う研修会に参加した。
- ☒ 2 法人・事業所において、ICT機器導入製品の内容や導入効果等についてホームページ等により公表を行っている。
※ホームページ等で公表を行っていない場合は公表時期を報告してください。 2026年 月 公表予定
- ☒ 3 ICT機器導入に係る公表状況等を福山市のホームページに掲載することに同意する。
- ☒ 4 子ども家庭庁または厚生労働省の求めに応じて、ICT機器導入に係る効果や事例の公表等に対応することに同意する。

(2)ICT機器等を導入したきっかけ

当事業所では、職員間の迅速な情報共有を図るため、これまでLINE WORKSを活用し、職員個人の携帯電話や事業所から支給したタブレット端末を用いて情報伝達を行っていた。しかし、支援中に携帯電話やタブレットの画面を確認する必要があり、端末操作に意識が向くことで、利用者への見守りが一時的に不十分となり、ヒヤリハットや事故につながる可能性が課題となっていた。また、支援中のため端末を確認できない職員には情報が伝わりにくく、職員間で情報を把握する時点で差が生じる状況も見られた。さらに、事業所の建物が敷地内の複数箇所に分かれている一方で、館内放送がすべての建物や活動場所に届く設備が整っておらず、必要な職員を探して直接伝達するための移動時間や、職員の所在を確認する手間が生じていた。防災訓練においても、新館や旧館など一部の場所に放送が届かないことが確認され、災害等の緊急時における情報伝達体制にも課題があった。これらの課題を解消し、職員が利用者への見守りを継続しながら、必要な情報を安全かつ迅速に共有できる環境を整備することを目的に導入を行った。

(3)導入した主なICT機器等の内容

職員間の情報伝達を迅速かつ円滑に行うため、JVCケンウッド製トランシーバー「UBZ-M51SEB」を29台購入した。トランシーバーは職員が携帯するほか、旧館、本館作業場、本館食堂及び新館の各活動場所に配置し、利用者の状況報告、応援要請、業務連絡及び緊急時の情報共有等に活用している。

また、安定した運用を行うため、充電台「UBC-9CR」を15台、充電台用アダプター「UBC-8ML」を3台、充電池「UPB-7N」を29台購入した。併せて、敷地内の複数の建物間における通信環境を確保するため、中継器「UBZ-RJ27」を3台設置し、旧館、本館及び新館を含む事業所内の通信範囲を拡大した。

これらの機器を一体的に整備することにより、職員が利用者への見守りを継続しながら、音声による迅速な情報共有を行うことができる環境を整備した。

(4)機器を導入して感じた課題及び効果(複数回答可)

【課題】

- ☒ 1 導入費用が高額である
- ☐ 2 機器に関する情報が少ない
- ☐ 3 機器が現場のニーズにあっていない
- ☐ 4 利用者・職員の安全面に不安がある
- ☐ 5 設置場所や準備・点検等、維持管理が大変
- ☒ 6 使い方の周知や教育・研修棟の業務改革の必要性がある
- ☐ 7 法人または施設・事業所としての具体的な方針が足りない
- ☐ 8 機器を活用するための人員体制が足りない
- ☐ 9 導入・活用することに利用者・職員に抵抗感があった
- ☒ 10 その他 (世界情勢の影響を受け、生産が間に合わず、本来なら導入時にそろえたかった備品の整備ができず、本格導入までに時間がかかった)

【効果】

- ☒ 1 ケアの質の向上 (利用者の自立支援、社会参加・コミュニケーション機会の増加に向けたケアの実施、根拠に基づいた支援の実施等)
- ☒ 2 職員の負担軽減
- ☒ 3 業務の効率化
- ☐ 4 会議や他職種連携におけるICTの活用
- ☐ 5 職員の確保・離職防止・定着に資する取組の推進
- ☒ 6 ヒヤリハット・介護事故の防止
- ☐ 7 その他 (※その他の場合はここへ記載してください。)

(5)ICT機器等導入前の定量的指標及びICT機器等導入により想定される定量的指標

① 前記2(3)に係る現在 (ICT機器等導入前) の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B × C)	1人あたり 業務時間 (D ÷ 業務従事者数)
		A. ひと月当たり	B. 年間発生件数 (A × 12)			
職員間の情報伝達・情報共有	23 人	31 件	372 件	5 分	31 時間	1 時間
			0 件		0 時間	#DIV/0!
			0 件		0 時間	#DIV/0!
		31 件	372 件	5 分	31 時間	#DIV/0!

② ICT機器等導入後の前記2(3)に係る想定業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B × C)	1人あたり 業務時間 (D ÷ 業務従事者数)
		A. ひと月当たり	B. 年間発生件数 (A × 12)			
職員間の情報伝達・情報共有	23 人	31 件	372 件	1 分	6 時間	0 時間
			0 件		0 時間	#DIV/0!
			0 件		0 時間	#DIV/0!
		31 件	372 件	1 分	6 時間	#DIV/0!

年間業務時間数想定削減率(%)

80.0%

※次の表については、作成文書量は該当する文書がある場合に限り入力すること。

③ 前記2(3)に係る現在 (ICT機器等の導入前) の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0 ページ
		0 ページ
		0 ページ
	0 ページ	0 ページ

④ ICT機器等導入後の前記2(3)に係る想定作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0 ページ
		0 ページ
		0 ページ
	0 ページ	0 ページ

年間作成文書量想定削減率 (%)

#DIV/0!